

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	教養・基礎教育部門						
科目名	倫理哲学 Ethics and Philosophy						
科目区分	人間形成科目	単位数	2単位	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	選択科目						
担当者	安居 誠 Makoto YASUI						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的方法の基礎を習得する。 ・学問や知的探求全般を規定しているエートスを自覚する。 ・「すじみち」という点で、論理と倫理が親和性を持つことに気づく。 ・近代以降の倫理思想の特徴を構造的に理解する。 						
日程と内容	4/7 導入講義：哲学とは何か 4/14 4つの哲学素 4/21 デカルトの夢と二進法 4/28 「ならば」の周辺 5/12 「または」の意味 5/19 論理演算と悪魔のパズル 5/26 真理条件と意味論 6/2 帰納法の謎 6/9 エメラルドは何色か 6/16 「正しさ」について 6/23 ソクラテスの問い 6/30 黄金律と定言命法 7/7 普遍法則としての道徳 7/14 倫理と政治性 7/21 まとめと演習 7/28 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート	10%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	ほぼ、達成できたように思います。						
反省点	成績や授業評価の結果以前に、講義の意図や目的がうまく伝わっていないように思います。						
来年度の計画	上記の反省点を踏まえて、導入部分を長く取るなど、講義の編成を変えてより深く理解してもらうことを目指します。						
授業評価アンケートに対するコメント	こちら、評価理由欄から判断する限り、熱意(だけ?)は伝わっているようです。あとは「難しい」、「毎回の講義内容が盛り」などの記述が目立ちます。学生の理解度を確認するために、ゼミ形式を1～2回導入することも考えたいと思います。						
履修登録者数	136名	定期試験 受験者数	121名	合格者数	92名	合格率	76%